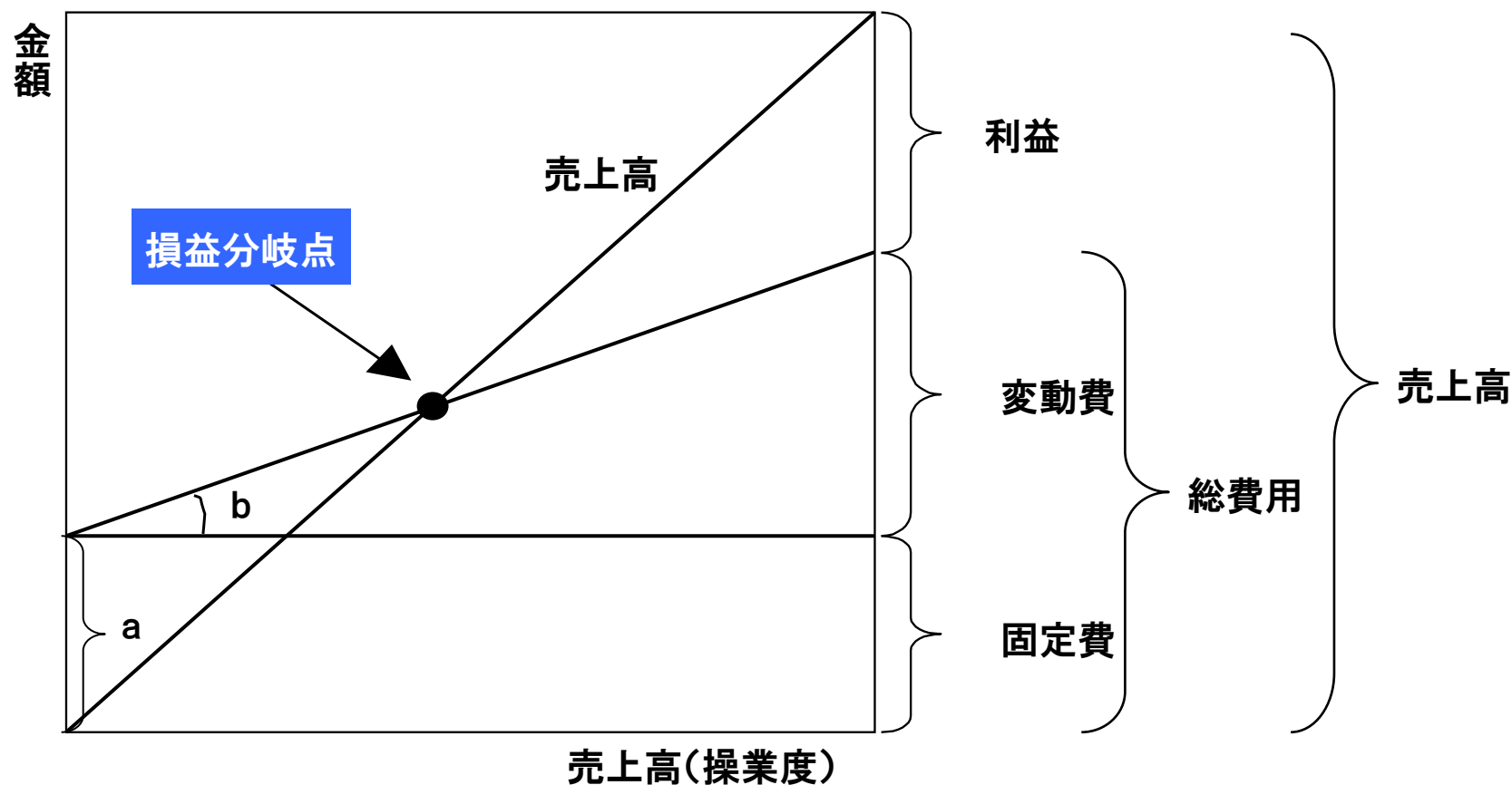


## 損益分岐点とは

狭義：費用と収益が分岐する(利益がゼロになる)点を算定するための分析である。

広義：損益分岐点を算出する過程を通じて原価・操業度・利益(C-V-P)の関係を分析する。

利益図表



## ◆実数値で確認！ 損益分岐点売上高

	4月		5月		6月	
売上高	1,000,000		1,200,000		1,250,000	
変動費	600,000	変動費率60%	720,000	変動費率60%	750,000	変動費率60%
限界利益	400,000		480,000		500,000	
固定費	500,000	固定費は毎月同額	500,000	固定費は毎月同額	500,000	固定費は毎月同額
営業利益	-100,000		-20,000		0	
月売上高 1,000,000では赤字			月売上高 1,200,000でも赤字			

1,250,000円が損も得もない売上高となります。→ 損益分岐点売上高  
 また、損益分岐点売上高は限界利益と固定費が同額になる点もポイント！

◆損益分岐点分析の基本公式

	4月	5月	6月
売上高	100	120	125
変動費	60	72	75
限界利益	40	48	50
固定費	50	50	50
利益	-10	-2	0

変動費率 = (変動費 ÷ 売上高) × 100 単位:% = (60 ÷ 100) × 100 = 60%

限界利益率 = (限界利益 ÷ 売上高) × 100 単位:% = (40 ÷ 100) × 100 = 40%

損益分岐点売上高 =  $\frac{\text{固定費}}{1 - \text{変動費率}}$  =  $\frac{\text{固定費}}{\text{限界利益率}}$

変動費率(※変動費÷売上高)60%、月間の固定費50万円の場合、20万円の利益を獲得するために必要な売上高はいくらか！

	4月	5月	6月	7月
売上高	100	120	125	
変動費	60	72	75	
限界利益	40	48	50	
固定費	50	50	50	
利益	-10	-2	0	20